

番号 00026

登録識別情報等通知書

(1 / 2)

自動車登録番号		登録年月日	初度登録年月	車台番号			
		平成 29年 7月 20日	平成 4年 5月	香 [8 1] 2 3 7 香			
車名		型		式		原動機の型式	
東急		[191]		TD 4 0 2 - 1 2		-	
所有者の氏名又は名称							
所有者の住所							
自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量
普通	貨物	事業用	セミトレーラ	[034]	-人	40000kg	14330kg
総排気量又は定格出力	燃料の種別	型式指定番号	類別区分番号	長さ	幅	高さ	前前軸重 前後軸重 後前軸重 後後軸重
-	-	-	-	1199cm	330cm	168cm	-kg -kg 4870kg 4860kg
有効期間の満了する日	平成 28年 6月 24日						
備考				<p>[] , 所有者変更記録 自動車重量税 非課税</p> <p>*一時抹消中所有者*</p> <p>[申請年月日] 平成29年10月20日 *保安基準緩和* [認定年月日] 平成8年7月30日 372 [緩和事項] [002] 幅, [004] 車両総重量, [005] 軸重 [制限事項] [022] 被けん引自動車の後面には、幅を表示すること。、 [024] 被けん引自動車の後面には、車両総重量を表示すること。、 [025] 被けん引自動車の後面には、軸重を表示すること。、 [031] 積載物品は、長大又は超重量で分割不可能な単体物品であること。、 [072] 自動車の最外側附近の前面には橙色の灯火（光度300カンデラ以下）を、後面には黄色の灯火（光度300カンデラ以下）をそれぞれ備えること。、 [092] 運行にあたっては、道路交通法及び道路法を厳守すること。、 [094] けん引自動車には運行記録計を備え、運行状況の記録をすること。、 *けん引車* 三菱 W-FV414JR, W-FV414JR改, KC-FV513HR, ニッサンディーゼル KC-CW631GNT, KC-CW631GNT改, *第五輪荷重* 17, 750kg 以上のものとする [その他検査事項] (1) KC-CW631GNT、KC-CW631GNT改には速度制限装置付、最高速度60KM毎時以下</p>			

裏面もご覧下さい。



平成 29年 10月 20日

運輸支局長

1. 本通知書は、再発行できませんので大切に保管して下さい。
(新規登録、輸出の届出等の際に必要なになります。)
2. 本通知書の自動車を譲渡するときは、本通知書を譲渡人に譲渡して下さい。

番号 00026

登録識別情報等通知書

(2 / 2)

自動車登録番号

車台番号

香 [8 1] 2 3 7 香

備考

[シリアル番号] TD402-12-S1012
以下余白

裏面もご覧下さい。

平成 29年 10月 20日

運輸支局長

東急車輛製造株式会社 殿
大阪工場

四国運輸局整備部長

改造自動車等審査結果通知書

指示事項: 当該通知書は製造番号TD402-12-S1012の1台に限る。

保安基準緩和は設計値をこえぬこと。

保安基準緩和を受けること。

職権打刻を受けること。

けん引自動車: いすゞ W-EXZ22J, P-EXZ21J, ショパンイセル W-CW620GNT,

※丸欄荷重18,000kg

主要諸元比較表 (改造、(試作)組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社 大阪工場			種別用途		普通 貨物		
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準		
車両重量 kg		14580	—	車名		東急	—		
乗車定員人		—	—	型式		TD402-12	—		
最大積載量 kg		40000	—	形状		セミトレーラ	—		
車両総重量 kg		54580	≤ 20 t	原動機の型式		—	—		
長さ m		11.990	()	総排気量 l		—	—		
幅 m		3.300	≤ 2.5	燃料の種類		車5輪から	—		
高さ m		1.680	≤ 3.8	軸 距 m		9350+1200=10550	—		
室内又は荷台の内寸法	長さ	8.800	—	最小回転半径 m		※12.0	≤ 12		
	幅	3.300	—	オーバーハング		0.990	≤ 4.0		
	高さ	—	—	ボデー後端まで		(5.275)	—		
空車時	前	4720	—	荷台オフセット m		3.050	—		
荷重分布	後	2930	—	タイヤ 前		—	—		
積車時	前	16980	≤ 10 t	サイズ 後		11/70R22.5-14PR	—		
荷重分布	後	18800	()	積車時		—	—		
kg	後	18800	≤ 10 t	タイヤ		—	—		
積載時前輪荷重割合 %		—	≥ 18	荷重割合 %		85.5	≤ 100		
			20	最大安定	左	※	—		
輪 距 m	前	—	—	傾斜角度 °	右	56	一般 ≥ 35 (30)		
	後	2390	—			56	—		
制 動 能 力	踏力	— kg	35 km/h 9.2 m	車わく強度		$\frac{5000}{3200} \times 2.0 = 2.8$	> 1.6		
	空気圧	7 kg/cm ²	—	車軸強度		$\frac{7000}{911 \times 2.5} = 2.8$	"		
推 進 強 度	回 転 数	Nc/N=	/ =	操縦装置		" =	"		
	強 度	$\sigma_b/\tau =$	/ =	懸架装置		$\frac{7000}{1304 \times 2.5} = 1.8$	"		
				制動装置		$\frac{4500}{1276} = 3.5$	"		
				連結装置		東急 TL 2555 型	トレーラと同一		

注1. 主要諸元比較表右肩()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。

注2. 能力強度等検討欄に必要なしらないものは、省略したものは×を記入すること。

注. ※印は W-EXZ22J 型トラクターと連結時の計算値を示す

試作
改造 概要説明書

目的	当該車両は重機の安全輸送を計る為に新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 9350 + 1200 = 10550mmとした
輪距	2590mmとした。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面にトラニオンブラケットを取付けそれにトラニオン軸を通しその軸を中心にして上下に揺動するウオーキングビームを取付け、その両端に取付けられた車軸にテーパローラベアリングをはめ合わせて車輪のホイールを支える。
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 気圧・内部拡張式ブレーキシューアンカーピン形式(駐車ブレーキ) フレームの側レールに取り付けられた、ノブを押し、スプリングブレーキが作動する。牽引車と分離した時、制動のかかる非常中継弁を取付けている。ブレーキ配管内の水及びゴミの蓄積防止の為エアフィルターを設ける。
懸架装置	ウオーキングビーム方式 トラニオン軸を中心にして前後に揺動し、ウオーキングビームのスピンドルを中心に左右に揺動する構造である。
連結装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車第 10999 号) と同一のものを使用している。 J I S - D - 6 6 0 2 に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	使用牽引車 いすゞ W-EXZ22J 型, P-EXZ21J 型 ニッサンディセル W-CW620GNT 型。

